

2024

医療法人社団 誠和会

7月

はせだより 広報



初夏の甘味イベントを開催しました



◆手作りのひんやりスイーツで、夏を乗り越えよう！

当院に入院する患者さま向けに「初夏の甘味イベント」を開催しました。

提供した和菓子は「紫陽花」がモチーフとなっており、白餡の優しい味わいと甘夏のスッキリした甘さ、ほろ苦さの相性が抜群の一品です。

当院の調理師が、中身の白餡からねりきりまで全て手作りしており、着色された寒天が雨に濡れた紫陽花のようにキラキラとしていて、とても涼し気です。

ねりきりも、ガク（装飾花）と葉っぱをイメージして、ひとつひとつ丁寧に造形しました。

イベントの始まりとともに、多くの患者さまが足を運んでくださり「綺麗」「甘さがちょうどよくて美味しい」とご好評いただきました。皆さまが夏を乗り越える助けになれたなら幸いです。

医療機器安全管理研修会を実施しました

◆快適な呼吸をサポートする、医療機器を導入しました

医療機器安全管理研修は、医師や看護師などが機器の特長や注意点などの取り扱いを確認し、患者さまが安心して医療を受けられる環境をつくる研修のひとつです。

今回は、人工呼吸器の導入に伴い「株式会社フィリップス・ジャパン」さまに機器の取り扱いについてご紹介いただきました。

この呼吸器は生命活動の維持ではなく、患者さまの自発的な呼吸を「サポートする」ことを目的としています。呼吸器に付属している加温加湿器により、乾燥した空気で気道や肺を傷つけずに適度な温度と湿度で呼吸管理ができ、気道閉鎖や痰によるチューブ閉鎖の防止などに効果的です。今後は医師の判断の下、患者さまの治療に取り入れてまいります。



◆七夕の「短冊」に関するお話をご紹介します！

七夕の童謡である「たなばたさま」に「ごしきのたんざく わたしがかいた」というフレーズがあります。五色とは、青・赤・黄・白・黒を指し、それぞれの色は中国の「五行思想」より青は木、赤は火、黄は土、白は金、黒は水を表しています。日本では当時、緑を「あお」と呼んでいたことから青は緑へ、あまり好まれない黒は高貴な色とされる紫へと変化し、この五色を短冊に使用することで魔除けになるとされていました。また、この五色は人間が生きる上で大切な考え方である「五徳」にも通ずるとして、青色（緑）は人間力の向上や成長、赤色は祖先や親への感謝、黄色は人間関係や約束、白色は義務や決まりを守る、黒色（紫）は学業の向上といったように、色ごとに意味を込めたといわれています。皆さまも、星夜に揺れる色とりどりの短冊に、願いをのせてみてはいかがでしょうか。（事務員R）

入院・転院のご相談

<空所情報>※7/11現在
回復期病棟(6床) 療養病棟(0床)
ホームページで確認できます

医療法人社団誠和会長谷川病院
■地域連携部(MSW): 渡邊、山本、安部
TEL: 043(444)0137
FAX: 043(444)0257
HP: <http://www.hphasegawa.or.jp/wp/>

